

414
A3068

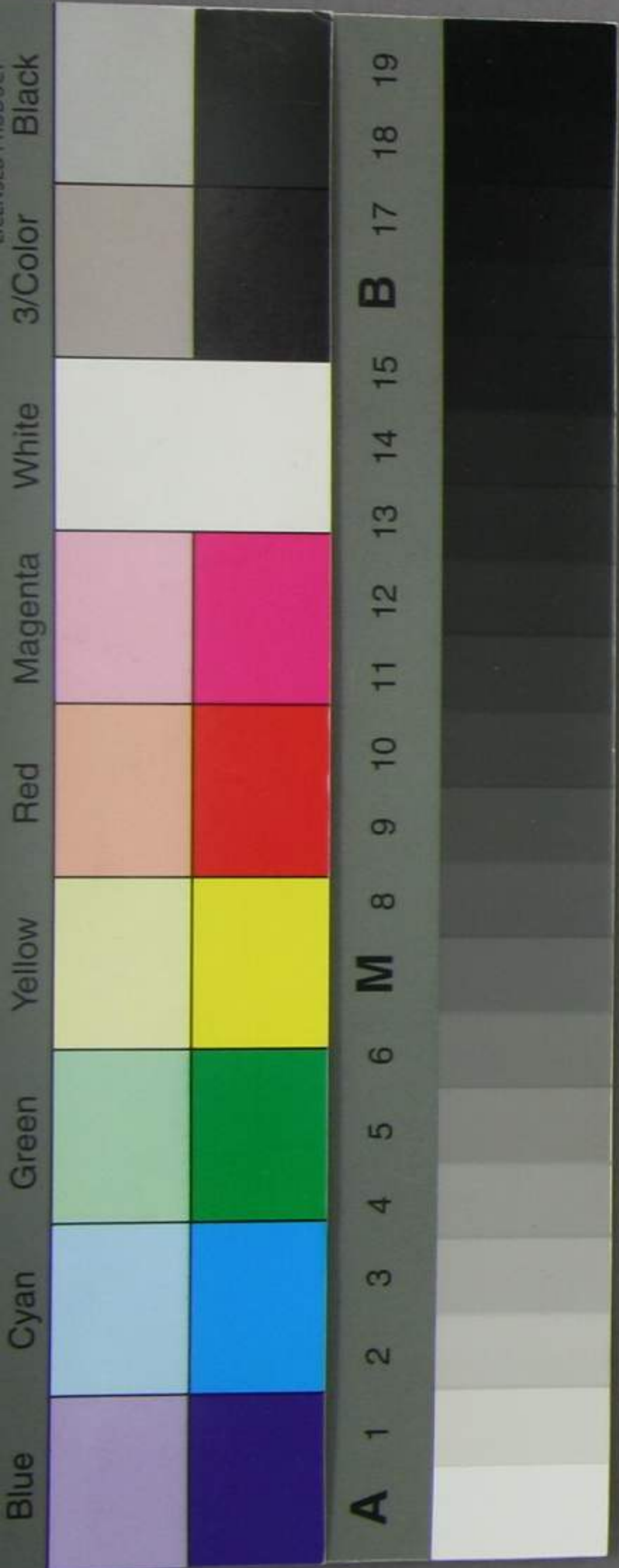


千八百七十五年十一月三日出版
横濱シヤパンヘラルト抄譯

日本紙幣論

日本金貨ハ輸出入ノ不平均ト政府ノ外國費用
トノ為メ流出スルノ日ニ際シ貿易ノ事業ハ衰
憊ノ色ヲ現シ内部ノ議論ハ多少トナク一六國難
朝鮮トノ戰爭ヲ云フ是レ内難アルニ非レバ
決シテ鎮定スベカラザルモノナリ
ヲ生スベキノ秋ニ
アタリ日本紙幣ガ漸次ニ高貴ノ價格(原價以)ニ
至ルハ豈亦意外ノ事ナラズヤサレバ如斯奇異
ノ現象ノ實因ヲ討究スルハ(仮令)ハ實驗ナキ腕
力ニセヨ看官ニトリ味ナキモノニアラザルベ
キナリ

大正十一年四月
隈正侯爵郵寄贈



扱右ノ一設ニ論討スルノ前ニ於テ如此事業ハ
自身ガ信用セサル処即自カノ覺束ナキモノナ
カラ徒事セル旨ヲ豫言シ置ザルベカラズ元來
或ル緊要ナル理財ノ問題ヲ推論スルハ至テ難キ
モノ殊ニ又事態ノ十二八九ハ外國人ガ窺測シ
能ハザル如キ國ニ於テハ尚ラモ容易ナラザル
ナリ去ナガラ地球上ノ各國ニ照シテ普通確
的ナル理財ノ道理モアリ又其他経財ニ困苦セ
ル他國ニ見聞スルモノモアレバ其才ニ由テ余ハ
是問題ノ趣旨ヲ推論スベシ
尤モ斯ル問題ヲ推論スルニ於テハ先ツ第一ノ
原因即チ一部分交通ノ相関ケ且僅ニケ所位ノ
関港場外國貿易ニ於テ重ナル関港場
ハ横濱兵庫ナリ故ニ云フヲ有セル日本ノ如

キ國ニ於テハ外國ノ融通物ニ關係シテ自國ノ
通貨ノ取扱ヲナスモ政府ノ手ニテ容易ニ管理
シ得ベキトナリトノ一事ヲ注視セザルベカラ
ス
然ラバ則チ外國貿易ノ以テ要スル處ノモノニ
應スベキ程ノ金貨ガ東京ニ存在セル間ハ大藏
省ニセヨ銀行ニセヨ紙幣ハ其原價ニテ通用ス
ベク或ハ其以上ニモ及フベキナリ且又此ニ輕
々看過スベカラサル一事情即チ政府ガ自ラ其
要スベキモノニ付外國ニ金貨ヲ拂ヘルノ事ア
リ斯ル場合ニハ其貸ヲ受ルモノヨリ夫ヲ輸
出スルナリサレバ政府ハ其金貨ヲ備ヘタル上
ハ洋銀ヲ購買スルヲ要セサルベシ若シサモナ

クシテ政府ガ余儀ナク金貨ヲ以テ英貨ノ為換
券ヲ買ハサルヲ得サルナレバ必ス自國貨幣
ノ價格ニ變更ヲ生セザルベカラザルナリ是
点ヨリ之レヲ看レバ政府ガ外國貨幣ニ對シテ
自國ノ通貨ヲ交換スルニ及ハズシテ直ニ其負
債ヲ償還シ得ベキガ故政府ガ貨幣ノ本位ヲ
金貨ニ變へタルハ大利益ニテアリキ
誠ニ細心日本ノ貿易表并造幣寮報告其他貿易ニ
關係セル書類ヲ閱スキハ外國ニ輸出シタル地
金ノ十二八九ハ政府ノ外國ニ拂フベキ費用ヨリ
生シタルナリト決論セサルベカラス想フニ其
地金ハ四五年前繁盛ノ時外國費用ニ稀少ナルノ
ニ於テ官庫ニ貯置キタルモノカ或ハ又外國債

ヨリ生出シタルモノナルベシ實ニ紙幣ヲ發行
シテ従前國內流通ノ貨幣ニ引換へタル事業ハ
日本政府ニテ如何ニモ穩便ニ之ヲ仕遂ケ得タル
ナリ尤モ當政府ノ確然タル信用ト又内部ノ人
民ハ首府ノ事情并ニ開港場ノ状態ヲモ(通信ノ
不便ヨリ)聞知シ能ハザルノ事情ト併セ考フ
フルキハ紙幣ガ一般人民ノ公認スル所トナリ且
運搬ニ便ナルガタメ従前ノ貨幣ヨリモ之
ヲ好ムニ至ルハ敢テ怪ムニ足ラザルナリ
故ニ今日ノ事態ニテ引續キ而シテ政府ガ外國
貿易ノ一ヲ管理シ得又其費用ノタメ全國ノ金
銀ヲ竭スルアラザレバ紙幣ハ決シテ其價格ヲ
墮サ、ルベキナリ如何トナレバ紙幣ヲ使用ス

ル人民ノ心ニトリ其紙幣ガ日用ノ品物ヲ買ニ
得ベキ大ノ價格ヲ備ヘクルモノト想ヘル以上
ハ紙幣ハ正金同様ニ流通シ能フヘギナリ然リ
ト雖モ物必ス盡期ナカルベカラズ巨富モ亦
竭書スルノ片アリ故ニ一旦傾倒ノ点ニ至リ
ナハ如何ナル理財上ノ好手段モ銀行仲間(假令政
見アル)ノ結合モ亦其下落ヲ如何トモシカタル
ベシ昔年魯國ニテ同一ノ傾勢ヲ押止メント
シタルトアリ今日本ノ為メニ其一語ヲ速ニ
曾テ魯國ニ於テ其紙幣ノ減歩百分ノ三拾ニ及
ヒタルトアリ千八百六十二三年ノトト想ヘリ
其時ニアタリ魯ノ朝野皆愕然トシテ各種々ノ
方策ヲ建議シ遂ニ外債召募ノ一策ニ決シ(蓋シ

就中結果ナキ方策英貨數百萬ノ外債約条ヲ口
スチヤルト社漢國ノ社ニテ世界
第一ノ巨商ニ取結ビ紙幣ノ價格拾ヲ引
戻ス為ニ其金ヲ用ヒタリ其手段ハ一時案外ニ其
功ヲ遂ケ魯政府ハ交換相場ヲ定メ忽チ其相場
ニテ外國ノ為換モ始リ又數月ナラスシテ紙幣
ノ價格ハ殆ト原價ノ地位ニ及ビ理財ノ事業ヲ
識別セザル人々ハ再ニ正金引取ノ期至ルベシ
ト憶想セリ然ルニ魯政府ハ突然容易ニ紙幣ヲ
金貨ニ引換ヘザル旨ヲ布告セリ之ニ依テ不
意ノ驚愕ヲ生シ紙幣ノ價格ハ右ノ一策ヲ企
テサレ以前ノ相場ニ立戻リタリ片畢
竟日本人ニ向テ右ノ一語ヲ忠言スルハ一
度落潮ノ来リタルニハ假令外國債ヲ募ルモ決

シテ其流弊ヲ止ムル能ハズ却テ其費ヲ増ス
モノナレバナリ又外國公債ヲ召募スルハ其召
募ノ人ニトリ拾別ノ利益アルニ非ルヨリハ日
本ノ如キ國ニテハ避クベキナリ
余曾テ萬國一覽誌ヲ讀ミ萬一土耳其政府ガ外
國債ヲ償還ニ能ハザルキハ其抵當ニ出シタ
ル土國ノ土地ハ其租稅ヲ監護スルガ為メ外國
ノ兵卒ニ取圍マルベシトノヲ發見シタリサ
レバ日本ニテモ現今ヲ如キ金貨流出ノ狀態新
ハザルニ於テハ國ノ開明ヲ進メテ其経財ヲ保
護スルノ外別ニ手段ヲカカルベキナリサリトテ其開明
事業ノ結果ヲ握ル迄ハ全國ノ人民ヲシテ赤
貧困阨ノ地ニ陥レシムル程ノ事業ヲナスベカ

ラス實ニ斯ル事業ハ國ノ廢興存亡ニモ相関シ
テ危殆ナルモノナリ
此ニ由テ之ヲ視レバ金貨ニ交換サルベキ日本
紙幣ハ墨銀ト比較シテハ銀相場ノ低下スルニ從
ヒ其價格ヲ騰貴スベキモノナリト云ハザルラ
得ス誠ニ二三年前ヲ四顧スレバ右紙幣ハ墨銀
ト比較シテハ其引ケ高百分ノ拾ナリシガ現今ハ
其増高百分ノ貳ニ至リタリサレバ尙同貨幣ニ交
換スベキ紙幣ハ政府ガ本位ヲ金貨ト定メタル明
新ノ為メニ百分ノ拾貳ニ其價格ヲ増シタルナリ
然ラバ則チ尙同貨幣ニ對シテ同價ニ紙幣ヲ交
換スベキ程ニ充分ナル金貨ガ日本ニ存セル間
ハ諸開港場ニテ墨銀ト之ヲ比較スルモ紙幣ノ

價格ハ銀相場ノ下落ニ割合ニ騰貴スベキナリ
是論題ヲ終ハルニ臨ミ余ハ日本ガ是迄打圍マ
レタル困難ノ事跡ヲ推考スルニ及ニ其國ノ信
用ト其通貨トガ能ク政府ニテ管理サレ得タルヲ
称賛シ且將來モ斯ル困難ニ際シ鈎ク其成功ヲ全
フセントテ冀望スルナリト云ハザルヲ得ズ